

災害時アーカイブ（1）

～災害調査アーカイブ～

社会防災研究領域 総合防災情報センター 自然災害情報室

室長：内山庄一郎
室員：田中亜紀子・池田千春・前田佐知子・樋山信子
栗栖和恵・篠崎いずみ・竹口明希

■ 自然災害情報室の取り組み

防災科学技術研究所（以下、防災科研）自然災害情報室では、被災地の現地調査や、発災時の災害対応情報を収集・整理し、国や地方公共団体、大学、研究機関、民間企業等、広く一般に活用できるデジタルアーカイブの提供を目指しています。このほか、防災・災害に関する資料の収集・提供を行う専門図書館として、災害資料アーカイブを提供しています。

■ 災害調査アーカイブ（担当：竹口、田中、池田、前田、内山）

現地調査を通じて、災害の発生から復旧・復興と、時間とともに変化していく被災地の状況を記録・保存し、デジタルアーカイブを構築しています。現地調査では、**災害直後の調査**と、数か月から数年の単位で、復旧・復興の様子を継続的に記録する**経年調査**を実施しています。

<災害直後の調査>

- **令和6年能登半島地震**：令和6年1日1日に発生した地震の調査を、能登半島・佐渡など広い地域で実施しました。（令和6年1月6日・1月23日・3月8日、防災科研撮影）



水平・垂直ともに地盤が1m以上も大きく変形し、電柱や道路標識などが大きく傾いています。



土砂災害によって崩れた土砂が小さな河川に流入し、川の流れを堰き止めています。



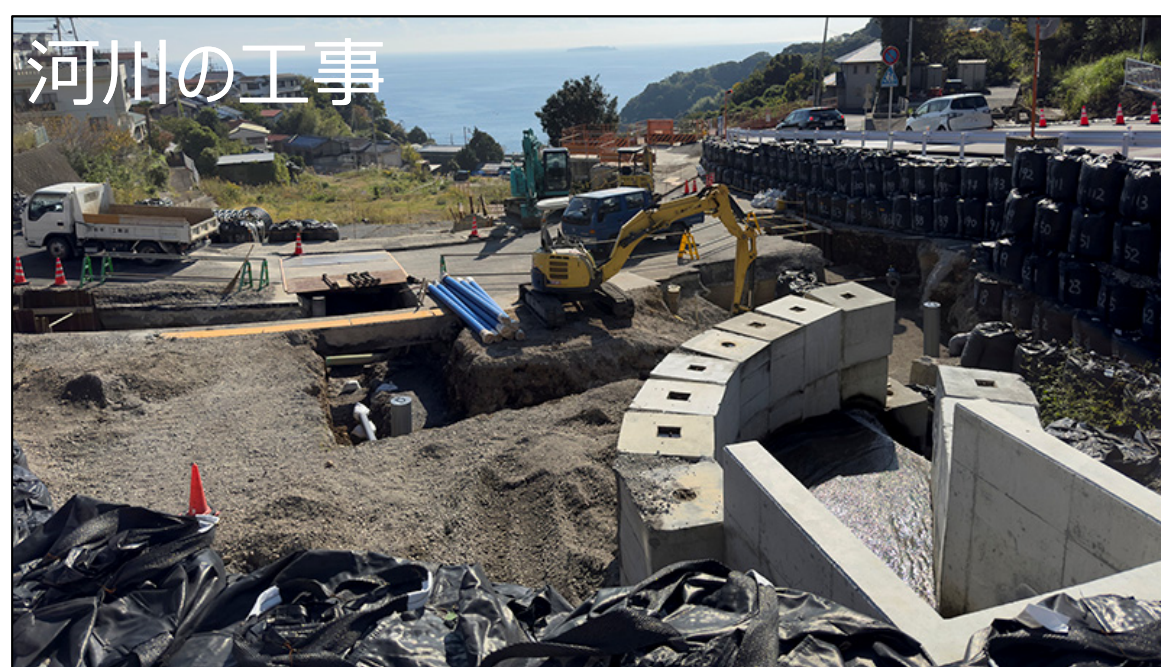
液状化が目立った公園付近で、噴砂や道路の隆起、亀裂が見られました。

<経年調査>

- **令和3年熱海伊豆山土石流（2年後調査）**：大雨により発生した熱海市での土石流災害の復旧の様子です。（令和5年5月11日・11月1日、防災科研撮影）



被災した建物が解体され、復旧に伴う道路の付け替え工事が完了していました。



被災した初逢川（あいぞめがわ）の復旧・改良工事が行われていました。

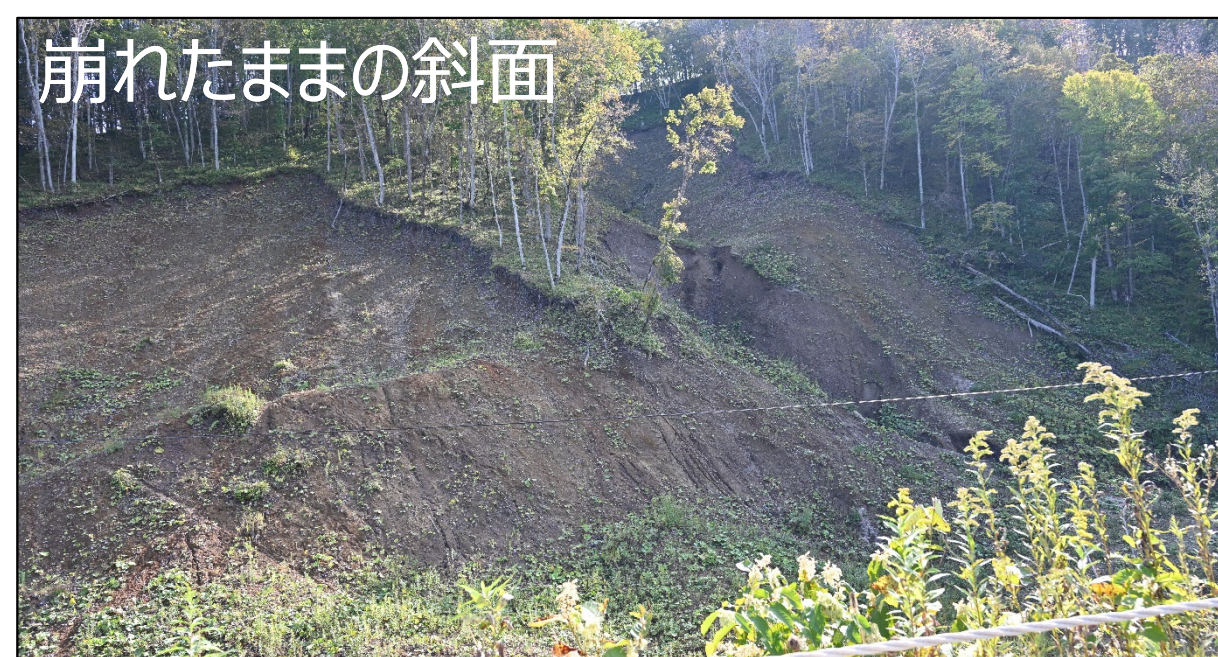


土砂が流れた下流に位置する場所です。斜面がコンクリートで新たに固められていました。

- **平成30年北海道胆振東部地震（3年後調査）**：地震により発生した厚真町での土砂災害の復旧の様子です。（令和4年9月28日、防災科研撮影）



広い範囲で斜面が崩れ、復旧された場所です。当時は道路も土砂に覆われていました。



住民生活や交通などに影響しない場所はそのままとなっていました。



土砂で埋塞した厚真川付近で工事が行われていました。



災害時アーカイブ（2） ～災害資料アーカイブ～

社会防災研究領域 総合防災情報センター 自然災害情報室

室長：内山庄一郎
室員：田中亜紀子・池田千春・前田佐知子・樋山信子
栗栖和恵・篠崎いずみ・竹口明希

■ 公的災害対応資料アーカイブ（担当：竹口）

発災直後から公的機関のWebサイトで公開される災害対応資料は、時間とともに失われてゆきます。これらの資料を保存し、災害動態の研究や公的機関の災害対応の振り返りに活用できるデジタルアーカイブの構築を目指しています。アーカイブしたデータは防災科研の防災クロスビュー（bosaiXview）で公開しています。

＜資料発行状況の可視化＞

都道府県がWeb公開している災害対応資料の発行情報をリスト化し、都道府県別に1日ごとの資料の発行状況をガントチャートとして可視化しています。以下の図は、防災クロスビューで公開しているガントチャートの例です。

令和6年能登半島地震の資料発行状況ガントチャート▼

防災クロスビュー：令和6年能登半島地震		資料ダウンロード		資料発行状況（リンク）		2407EQ_資料発行状況ダウンロードシート - 令和6年能登半島地震	
道庁状況		2024年1月		2024年2月		2024年3月	
生活支援箇所		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	
NPO等の活動状況		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	
災害対策本部・被害等公表資料		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	
作成：防災科学技術研究所 自然災害情報室		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	
解説：災害発生時には、都道府県をはじめとして災害対応本部会議や被害状況などの災害対応資料がWebサイトで公開される。本資料ブックレットは、こうした公開の機運の発行した災害対応資料をアーカイブし、その発行状況を色付きのグラフとして可視化、加工し、オリジナルデータへのリンク付き資料リストとして整理したものである。		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	
災害関連法適用状況		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在		2024年3月11日現在	

■ **災害資料アーカイブ**（担当：田中、池田、前田、栗栖、篠崎）

災害の記憶や記録を防災に活かすには、過去に起きた自然災害の様子や人々が辿った復興の過程を知ることが一つの手掛かりになります。自然災害情報室ではこれらの資料を長期的・継続的にアーカイブし、防災研究・災害対応に活かすための情報発信を行っています。

＜災害のアーカイブサイト公開＞

当時、防災科研で調査し撮影された現地写真や空中写真をデジタル化し公開しています。また、所蔵する災害資料や文献を紹介しています。

アーカイブサイトで提供している昭和39年新潟地震の写真▼



(昭和39年6月、国立防災科学技術センター（現、防災
科研）撮影）

＜災害関連資料の収集＞

現地の新聞や写真集などの災害記録として有用な資料の収集も行っています。令和6年能登半島地震についてもこれらの収集を行い、展示しています。

アーカイブサイト▼



◀令和6年能登半島地震 の収集資料

